

声楽器楽演習履修生による体験学習

～エリザベト音楽大学で学ぶ～

声楽器楽演習履修生6名が中区幟町にあるエリザベト音楽大学へ体験学習に行きました。セシリアホールに入りパイプオルガンについて講義を受けたり、音楽文化学科准教授である佐々木先生によるJ.S.バッハ作曲「トッカータとフーガ」の生演奏を聴いたりして、普段目にすることも耳にするこもない大きな楽器に触れることができました。

また、その後は音楽文化学科准教授である平田先生による〈音楽科の耳〉トレーニングの模擬授業を受講しました。先生の伴奏に合わせて拍子を叩いたり旋律を歌ったり、和声を感じながら音楽の流れに乗ってアンサンブルをすることの大切さを教わりました。

